

れんけい renkei



83 vol.

公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院 地域医療連携室

〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷5丁目22-1

TEL:022-252-1111(代表) FAX:022-252-1126(連携室直通)

URL:http://www.openhp.or.jp e-mail:renkei@openhp.or.jp

【仙台オープン病院 理念】

思いやりのある心で信頼される優れた医療を提供します。

新年のご挨拶

仙台市医療センター理事長 中川 洋



登録医会の皆様、明けましておめでとうございます。黒船来航の如きダイヤモンド・プリンセス号から始まったコロナ禍、間もなく2年を経過します。未だ収束とはいえない状況の中で、仙台オープン病院はその最前線で対応に追われてまいりました。21世紀は災害の

世紀などといわれることもあるようですが、それにしてもこの所、感染症パンデミック、震災、台風、豪雨災害と立て続けに起こっています。救急医療を始めとして、医療人はいつもその最前線に立たざるを得ません。

この度のパンデミックに際し、歴史的なパンデミック、14世紀のペストや、100年前のスペイン風邪などを振り返るきっかけになりました。医学が未発達で、細菌やウイルスの検査も出来ず、原因不明で治療法もない時代のパンデミックは、今から見れば不合理で、理不尽なことが沢山あり、誤った政策・施策、誤った治療法、そして、感染者に対する差別・偏見、誹謗中傷が蔓延していたようであり、今回のコロナ禍では、わずか2週間で原因ウイルスが同定され、ゲノム配列解析を行い、信頼の高い検査、有効なワクチンが開発されました。医学の進歩はまことに素晴らしいものと確信いたします。しかし一方で、危機に瀕したときの人間の有り様はいつの時代も変わらぬようで、さまざまな混乱が世界に及んでいます。今回のパンデミック対応には苦い思いが残るのも事実であり、この経験をかみしめながら、医療体制、危機管理体制の更なる改善・改革が期待されます。

経口抗新型コロナウイルス薬が承認される日も近いようです。初期治療の形が大きく変わり、軽症患者の多くが通常の外来診療に変わっていくものと思われます。ウィズコロナ、ポストコロナを見据えて、新しい年、令和4年が多難な中にも希望の持てる年になることを祈念いたします。

仙台オープン病院 院長 土屋 誉



登録医の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は一昨年から世界中でパンデミックを起こしているCOVID-19で明け暮れた一年でした。今年こそは平穏な日常生活が戻ってくることを願うばかりです。

COVID-19流行にあたっては非日常ということがいかに簡単にやってくるということを思い知らされました。当院では社会の要請に答えるべくできるだけことはやろうという精神で対応してきました。ある企業では採用にあたって(1)self-motivated(内発的動機付け)(2)good at problem-solving(問題解決能力)(3)willingness to bear uncertainty(不確実性への耐性)を重症視していることだそうですが、まさに不確実な状況での柔軟な対応を迫られました。しかし、職員の協力もあって、PCR検査、入院の受け入れ、外来アセスメント、ワクチン接種など多くの新事業が滞りなく行われ、地域に求められる病院としての役割を果たせた一年であったと思います。変異株の流行も懸念されますが、今年も粛々と業務の遂行を行い市民の皆さんの健康の維持に貢献したいと思う次第です。

その他にも4病院の再編成も大きな話題となりましたが、今年は具体的に進展する年になりそうです。われわれは変化する状況にいかに対応するかを模索しながら病院の発展につながるべく対応するという決意も新たにしています。

医師の働き方改革はいよいよ実施が迫っており、多くの病院がその対応に追われる年にもなります。この改革により病院の運営形態にも大きな影響が出ることは必至です。いわゆる大学医局員の当直バイトも大きな規制がかかることになり、救急医療も集約化もはかられると予想されます。当院ではすでに目標であるA水準を達成していますが、今後も職員が健康で働ける環境を作りつつ、安全な医療の提供を目指していきたいと新年を迎えるにあたって改めて思っております。

最後になりましたが皆様のご健康をお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

「救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞して」

仙台市医療センター 理事長 中川 洋

このたび救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞し大変光栄に存じます。これまで支えていただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

わたくしは永年勤続小児科医として永く病院勤務をした後、仙台市救急医療事業団、仙台市医療センターで仕事をするようになりました。1982年から仙台市立病院に勤務しましたが、当時の市立小児科は少数精鋭で、時間を問わず電話一本で引き受ける、市内の小児救急の中心になっていました。市立病院では最後の6年間病院事業管理者を拝命し、新市立病院基本構想の策定に関わりました。救命救急センターのER化を図ると共に、小児救急では初期から三次まで切れ目のない医療を提供することを目指しました。仙台市急患センターにあった小児科を分離し、新市立病院の同じ屋根の下に「仙台市こども急病診療所」を開設することで実現しております。

2008年から5年間、仙台市急患センター所長を務めました。この間、2009年のH1N1インフルエンザパンデミック、そして2011年の東日本大震災を体験いたしました。H1N1インフルエンザパンデミック

の時には、急病診療所への患者集中を避けることは出来ず、仙台市急患センターの新型インフルエンザ患者数は1万人を超えました。押し寄せる来院患者のトリアージを行い、隔離群、一般診察群と分けましたが、ピーク時には一般診察群でも結果的に3割が迅速検査陽性となり、初期救急におけるトリアージの限界を実感いたしました。

21世紀は災害の世紀などと言われることもあるようです。2002年のSARSに始まり、2009年のH1N1インフルエンザパンデミック、2012年のMARS、そして今回のコロナパンデミックであります。自然災害も東日本大震災を筆頭に、大規模地震、台風、豪雨災害と続いており、救急医療は常にその最前線で対応することになります。危機管理体制(BCP)の再確認、非常時への準備、日頃の訓練が必要と感じております。



登録医会員数の現況 (令和3年12月31日現在 659名)

令和3年9月以降、登録医会にご入会いただきました先生方です。

(敬称略)

入会月	氏名	医療機関名	診療科	地区
9月	小池 良樹	南大野田こいけクリニック	内科、胃腸科	太白区
10月	菊地 翼	菊地内科クリニック	内科、循環器科	太白区
	滑川 明男	せんだいG & Aクリニック	精神科	若林区
	牛込 亮一	牛込医院	内科、循環器科	泉区
11月	田畑 摩純	一番町耳鼻科	耳鼻咽喉科、アレルギー科	青葉区
	進藤 靖史	向陽台クリニック	内科	泉区
	伊藤 正敏	きぼうの杜クリニック	内科(がん、免疫細胞療法)	青葉区
	鈴木 信	なごみこどもクリニック	小児科、アレルギー科	青葉区
12月	高橋 累	勾当台はやさか内科クリニック	内科、糖尿病科	青葉区

職員人事

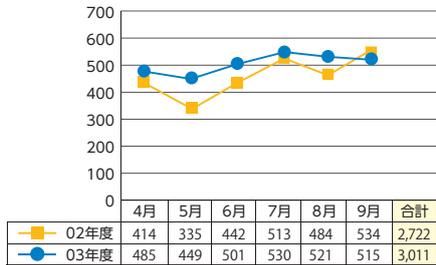
職員人事(令和3年9月1日~令和3年12月31日)

発令	職名	所属	氏名	発令日	備考
採用	研修医2年	医局	佐藤 裕真	R3.9.1	研修管理センター・常勤嘱託
	麻酔科副部長	医局	栗原 正人	R3.10.1	麻酔科
	外科医長	医局	有明 恭平	R3.10.1	消化器外科・一般外科
	内科医員後期研修医(専攻医2年)	医局	佐藤 宏樹	R3.10.1	研修管理センター
	研修医1年	医局	奥田 晋作	R3.10.4	研修管理センター・常勤嘱託
退職	内科医長	医局	牛込 亮一	R3.9.30	循環器内科
	内科医員後期研修医(専攻医2年)	医局	渋谷 由太	R3.9.30	研修管理センター
	研修医1年	医局	中村 圭	R3.10.3	研修管理センター・常勤嘱託
	研修医1年	医局	関口 一星	R3.11.30	研修管理センター・常勤嘱託
	内科医員後期研修医(専攻医3年)	医局	青田 宏人	R3.12.31	研修管理センター・常勤嘱託
	研修医1年	医局	奥田 晋作	R3.12.31	研修管理センター・常勤嘱託

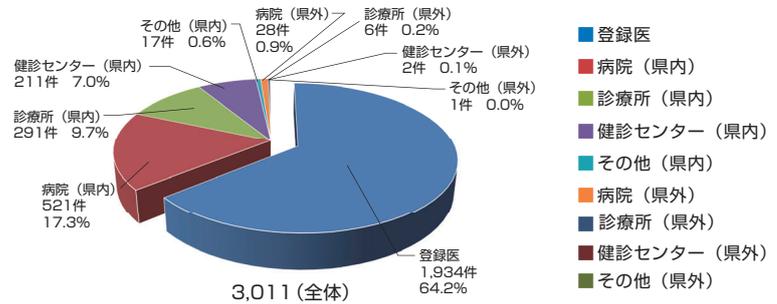
紹介患者実績

● 令和3年度上半期（4月～9月）の実績は下記の通りです。

①初診紹介患者件数



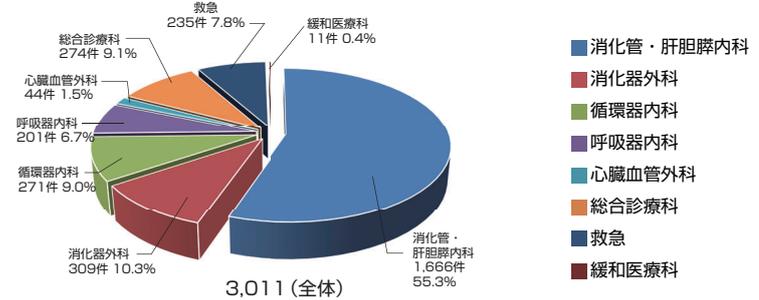
②紹介患者数紹介区別



③診療科別受付件数 (紹介患者件数に対して)

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
消化管・肝胆膵内科	246	215	273	304	304	324	1,666
消化器外科	51	54	50	55	51	48	309
循環器内科	54	52	39	48	39	39	271
呼吸器内科	35	34	33	44	33	22	201
心臓血管外科	10	6	7	7	7	7	44
総合診療科	57	55	52	32	40	38	274
救急	31	33	47	40	47	37	235
緩和医療科	1	1	2	3	4	0	11
合計	485	449	501	530	521	515	3,011

※「緩和ケア科」は令和2年度から「緩和医療科」へ名称変更されました。

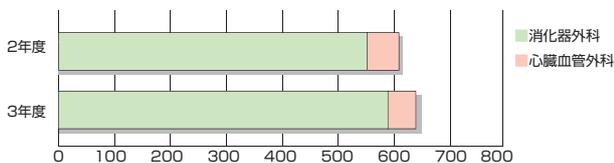


診療実績

● 令和2年(2020)4月～令和3年(2021)9月上半期 (前年度対比)の紹介検査件数は下記の通りです。

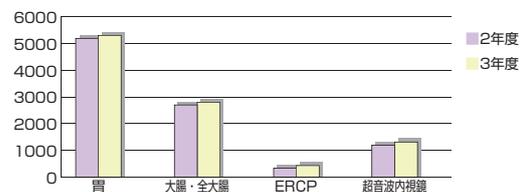
①手術件数

	2年度	3年度
消化器外科	549	589
心臓血管外科	56	51
計	605	640



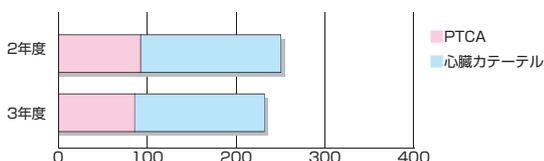
②内視鏡検査件数

	2年度	3年度
胃	5,124	5,165
大腸・全大腸	2,666	2,742
ERCP	341	356
超音波内視鏡	1,146	1,166
計	9,277	9,429



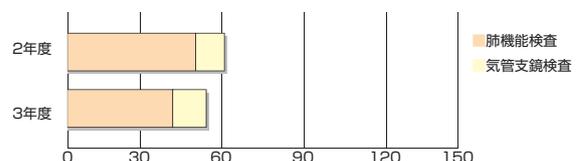
③心臓カテーテル検査件数

	2年度	3年度
PTCA	93	87
心臓カテーテル	160	153
計	253	240



④肺機能検査件数

	2年度	3年度
肺機能検査	52	41
気管支鏡検査	9	12
計	61	53



仙台オープン病院外来診療スケジュール

先生方からご紹介いただく患者さんは毎日受付しております。救急センターは24時間受け入れしております。

令和4年2月1日より

		月	火	水	木	金
消化管 肝胆膵 内科	消化管	清水 孟	原田 喜博	嶋田 奉広	大平 哲也	山形 拓
	肝胆膵	伊藤 啓 楠瀬 寛	菅野 良秀 小堺 史郷	與那嶺 圭輔 宮本 和明	越田 真介 酒井 利隆	小川 貴央
循環器内科		牛込 亮一 野田 一樹 (新患担当)	浪打 成人 野田 一樹 瀧井 暢 (新患担当)	尾形 剛史 田篤 (新患担当)	瀧井 暢 砂村 慎一郎 浪打 成人 (新患担当)	谷田 篤史 村 慎一郎 (新患担当)
呼吸器内科		飯島 秀弥	進藤 百合子 洞 亮 (第2、4)	飯島 秀弥		進藤 百合子
消化器外科 一般外科		阿部 友哉 橘 知睦	岡田 恭穂 有明 恭平	土屋 誉之 土屋 朗之	柿田 徹也 矢澤 貴	及川 昌也 赤澤 直也
心臓血管外科 呼吸器外科		吉田 聖二郎 (午前9時～11時)		茂泉 善政	吉田 聖二郎 (午前9時～12時) 新田 能郎 (午後1時～3時30分)	
総合診療科		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
緩和ケア 入棟相談				進藤 百合子		
化学療法科			東北大学病院 高橋雅信 / 西條憲 (第1、3、5) / (第2、4)		東北大学病院 高橋昌宏 / 小峰啓吾 (第1、3、5) / (第2、4)	
スキンケア外来 (予約制)				担当チーム (午後1時～)		

※乳腺外来は休診いたします。

受付時間 午前8時30分～午前11時

● 検査・入院などのご予約について ……総合サポートセンター

代表番号 TEL 022-252-1111 FAX 022-252-1126
(登録医予約専用) TEL 022-252-5755 FAX 022-252-1126
(平日 18:00 まで、土曜日 9:00～13:00)

※診察・検査につきましては事前に予約されている場合でも、当日の外来状況により待ち時間が発生することがございます。
何卒、ご理解、ご了承願います。

● 緊急な患者さんをご依頼の場合 ……救急センター

TEL 022-252-0100 FAX 022-252-0264 (救急受付直通)

URL <http://www.openhp.or.jp> E-mail renkei@openhp.or.jp

● 編集委員 伊藤 啓、金森 基允、野口 雅子、大原 麻子、熊坂 望、後藤 圭佑、水間 吉則